

SANTARO

高橋三太郎展

北海道立近代美術館 2015.9.1 Tue - 12.6 Sun

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6882(お問い合わせ) 011-612-7000(テレフォンサービス)

休館日: 月曜日(9月21日、10月12日、11月23日を除く)、9月24日(木)、10月13日(火)、11月24日(火)

開館時間: 9:30-17:00(入場は16:30まで) 観覧料: 一般510[420]円、高大生250[170]円 *([]内10名以上の団体料金)

○特別展「日韓近代美術家のまなざし」(9月1日~10月12日)との共通券は、一般1,500円、高大生850円

○三岸好太郎美術館所蔵品展「線は風のように-三岸好太郎の線描の魅力」(10月31日~1月20日)と両方観覧する場合は、一般820[660]円、高大生410[270]円

*無料になる方: 65歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方など。高校生は毎週土曜日、文化の日並びに学校の教育活動で利用する場合は無料。

主催: 北海道立近代美術館

後援: 札幌市 札幌市教育委員会

放浪する木工家と
そのカタチ



June 1974
SAPPORO

June 1971
SAPPORO

October 1972
JERUSALEM

July 1971
HELSINKI

August 1971
LONDON

April 1973
NEW YORK

April 1974
MEXICO
CITY



1. 後志合同庁舎のI・back chair 1996年 2. RAY 1995年 3. かでるホールのベンチKAMUI 1991年 4. TAC 1997年 5. papyrus 2014年 6. A・F・P 1984年

高橋三太郎展 放浪する木工家とそのカタチ

木工家の生まれ方—海外放浪から木工の道へ

高橋三太郎は、札幌を拠点に1980年代から目覚ましい活動を展開してきた木工家です。1949年、名古屋に生まれ、北海道大学で建築を学ぶために来札。1971年、学業の途中で世界放浪の旅へ出て、シベリア経由でヨーロッパ、イスラエル、アメリカへと巡りました。旅が3年を超えた頃、メキシコ滞在中に「木をやろう」と決意し帰国。ほぼ独学で木工の道へ進み、1982年に自らの工房を設立しました。

カタチの生まれ方—椅子のフォルムはライフスタイルのメッセージ

高橋三太郎の目指すことのひとつが、「DECENT(慎ましやかな、上品な)でWEALTHY(ゆたか)な暮らし」です。こうした考え方の原点は放浪を始めた頃、ノルウェーの小村で質素ながらも心ゆたかに、美しく暮らす人々と出会い深く共感した体験にありました。直線的で簡潔なフォルムから始まり、曲線・曲面を加えて展開してきた高橋三太郎の椅子。それは、シンプルながらもゆたかなライフスタイルをという自らのメッセージを、形にしたものと言えます。

空間と椅子—手仕事の枠を超えて

手作り家具から始めた高橋三太郎は、1980年代末には公共建築のための椅子デザインへと仕事の幅を拡大しました。それらでは造形としてのモニュメンタリティを持たせることによって、椅子本来の人間的なスケール感を建築の空間に拮抗させようとする意図がうかがわれます。椅子の作家として、自己完結を徹底して排除し、不断の展開と外部との交流によって、現代の消費社会のなかでも揺らぐことのない良質な椅子を世に送り出す。それを北海道においてきわめて自覚的かつ戦略的に行ってきた点で、高橋三太郎は類がない存在と言えるでしょう。

本展では、代表的なチェア、ベンチ、スツール、そして近年のプロダクトまで焦点を当て、木工家・高橋三太郎の柔軟で力強い思考と創造の軌跡を、展示室空間で一堂に展開します。



アーティスト・トーク

高橋三太郎 × 赤坂真一郎(建築家) × 佐々木信(デザイナー)
10月3日(土)14時~15時30分
北海道立近代美術館2階ロビー
参加無料

同時開催 近美コレクション

「秋季名品選—ティファニー〈ランプ・きばなふじ〉他」
「ガラスのかたち—吹きガラスの魅力」



岩田久利《花器・桜蘭》
1980年

学芸員によるギャラリー・トーク

秋季名品選、ガラスのかたち、高橋三太郎展
土曜日、14時~(約30分)
展示室Aの観覧券が必要です。
○10月17日、10月31日
吹きガラスのかたち
○10月24日、11月21日
ピカソ、ムンクの版画に見る世紀転換期のヨーロッパ
○11月7日、11月28日
ガウディの椅子、リートフェルトの椅子、美術の目で見てみると…
○11月14日、12月5日
宙吹きの魅力—昭和日本のガラス造形

特別展

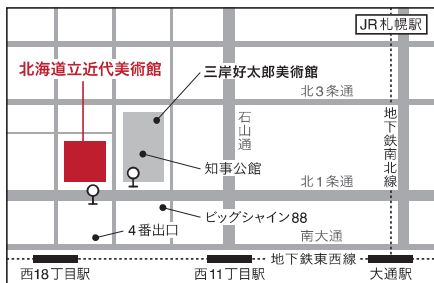
日韓近代美術家のまなざし
9月1日(火)~10月12日(月・祝)

三岸好太郎美術館のご案内

特別展「ワンワンワンッダフル!—あの犬に会いたい」 9月5日(土)~10月21日(水)
所蔵品展「線は風のように—三岸好太郎の線描の魅力」 10月31日(土)~1月20日(水)
(当館から徒歩5分) 北海道立三岸好太郎美術館 〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目 電話011-644-8901



なかいれい
《ラケットをもつ少年
少女と犬とマール》
2010年



地下鉄 東西線、西18丁目駅下車、4番出口から徒歩5分
JRバス、中央バス 道立近代美術館バス停下車、徒歩1分
駐車場 車でお越しのお客様は、ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条西15丁目、美術館から徒歩5分)を割引料金でご利用いただけます。料金120円/20分
美術館利用者を対象とした割引: 駐車場入場から20分無料。20分を超える場合は20分につき120円増し。近代美術館内の押印機で、駐車券に押印してください。
障害者割引: 精算前に、ビッグシャイン窓口で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示すると、1時間無料となります。(上記「美術館利用者を対象とした割引」との併用不可。)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目
お問い合わせ 011-644-6882 テレフォンサービス 011-612-7000
www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/
f facebook.com/dokinbi t twitter.com/dokinbi
道近美 検索

北海道立近代美術館
HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART